

# 提出していただいた意見とそれに対する市の考え

＜第2次豊明市協働推進計画(中間見直し版)(案)＞

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	<p>市民アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図3のCグループが取り組んでいる人が多いとは見えない。</li> <li>・何が問題でできていないのか深堀りが必要。ギャップが見えない。</li> </ul> <p>全体を通じて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～3章が4章に繋がっていないので4章以降が具体性に欠ける。</li> </ul> <p>4章について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念、ビジョンが福祉政策のようで、協働推進計画とは感じられない。</li> <li>・結論から課題が出ていると感じる。</li> <li>・私が思う目指姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明市は幅広い層の市民が参加して地域共生・協働社会を目指す</li> <li>・地域の課題を地域で解決</li> </ul> </li> </ul> <p>見直しに入れてほしい項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用した地域のつながりづくり</li> <li>・住民参加型の地域共生社会作り(区町内会単位で意見を述べる場、福祉委員会が主体的に活動できる地域づくり)</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較対象が平均のため、平均よりは取り組んでいる人が多いということです。</li> <li>・それぞれの分野テーマにおいて参加する人が少ない理由についてはさらなる深堀が必要ではありますが、本調査から見えてくる示唆としては、3章(3)今後の方向性に記載をした課題と認識しております。</li> <li>・本計画におけるアウトカムは、各政策における施策目標を達成することであり、それを実現するため多主体協働の体制づくりは目標達成の「手段」に過ぎません。そのため、本計画ではそれぞれの施策目標に対して適切な手段を臨機応援に講じることができるよう、具体的な事業を記載することは控えています。それに代わり、多主体協働が好ましい方向に進んでいるかを確認するものとして「施策の論理構造」を示すことといたしました。</li> <li>・基本理念やビジョンは、これまで豊明市が先進的に「地域包括ケア」の取り組みで積み重ねた成果を、市のあらゆる政策分野に広げていくことにより「地域共生社会」並びに「SDGs」の実現を目指すという市の姿勢を示したものです。</li> <li>・本計画の実施にあたっては、ご提案の取り組みが各地域で広がるよう取り組んでまいります。</li> </ul>
2	<p>P23、26について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共生交流プラザ「カラット」を通じてこれまで地域社会とつながりがなかった市民でも地域に関心を持てるようになることを期待している。それにより地域課題への取り組みに参加することにつながるのではないかと。</li> <li>・「カラット」ではボランティア団体の案内や困りごとについての相談、参加の相談などの窓口を設けてはどうか。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生交流プラザはご提案のとおり成果を目指し運営していく予定です。</li> <li>・施設内には「おたがいさまセンターちゃっと」「国際交流協会」「市民大学ひまわり」の窓口が設けられ、ご提案の相談を受けることが可能となります。</li> <li>・また各団体の紹介や参加者募集等の情報発信機能も設ける予定です。</li> </ul>